



山 | 梨 | 大 | 学 | | 新 | 技 | 術 | 情 | 報 | ク | ラ | ブ |

～ インフォメーション ～ 2016/6/15 発行

【第 28-5 号】

メールマガジン 目次

- 01： 公募情報 (4 件)
- 02： イベント案内 (5 件)
- 03： プレス情報 (3 件)
- 04： その他 (1 件)



01: 公募情報(3件)

(1)【募集中～7/15】「平成 28 年度やまなし産業大賞の募集について」
※リンク先：

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/sangyo-taisho/bosyu2016.html>

山梨県では、どこにもマネのできない優れた技術やホットな製品をもっている企業、顧客へ新しい価値や生活を創造・提案し続ける経営を行う企業などを募集しています。他の企業の目標となっただき、県内産業が元気になることを目指しています。自薦・他薦は問いません。ふるってご応募ください。

○募集部門：

(1)ものづくり大賞部門

製品・技術等であって、新規性・独創性、技術的完成度、市場性、成長性などに優れた画期的なもの

(2)経営品質大賞部門

お客様満足と競争優位を実現する経営の仕組みを有し実践している企業等

○募集期間：平成 28 年 6 月 1 日(水)から平成 28 年 7 月 15 日(金)まで

○応募方法：

「平成 28 年度やまなし産業大賞応募申込書」の「ものづくり大賞部門用」または「経営品質大賞部門用」に必要事項を記入の上、平成 28 年 7 月 15 日(金)までに必着するよう山梨県産業労働部新事業・経営革新支援課まで送付するか、ご持参ください。ただし、応募期間中であっても土日祝祭日には、持参による受付は行っておりません。

【お問い合わせ】

山梨県 産業労働部
新事業・経営革新支援課
TEL：055-223-1544

(2) 【募集中】平成28年度 山梨県若手研究者奨励事業募集のご案内
<http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/shigaku-kgk/2805/13.html>
(山梨県大村智人材育成基金事業)

山梨県では若手研究者の意欲を喚起し、本県産業振興や地域活性化担う次代の優れた研究者持続的な育成を図るため、研究に要する経費対して補助金を交付します。

○対象者

平成28年4月1日現在、40歳未満の大学院生若しくは修了者うち平成28年4月1日現在、40歳未満の大学院生若しくは修了者うち

①山梨県内の大学等高教育機関で研究を行っている者又は企業等に属する研究者

②山梨県内の 高等学校、短期大学、大学、院のいずれかを卒業し山梨県外の大学等高教育機関で研究を行っている者又は山梨企業に属する研究者

○対象分野・補助金額募集人数

(1) 自然科学分野 100万円(上限額) 5名以内

(2) 人文・社会科学分野 50万円(上限額) 5名以内

○スケジュール

募集期間 5月13日(金)～7月7日(木)

書類審査(一次) 7月上旬～中面接審査(二次) 7月下旬

採否決定 7月下旬

※企業の営利を目的とする研究は対象なりません。

○山梨県若手研究者奨励事業 募集要項

http://www.pref.yamanashi.jp/shinchaku/shigaku-kgk/2805/documents/bo-syuyoukou_kenkyu.pdf

○募集要項、申請書類様式 等 (私学・科学振興課 HP)

私学・科学振興課 HP 「山梨県大村智人材育成基金事業」

http://www.pref.yamanashi.jp/shigaku-kgk/omura_project/jinzai.html

○山梨県若手研究者奨励事業費補助金交付要綱 (私学・科学振興課 HP)

http://www.pref.yamanashi.jp/shigaku-kgk/omura_project/documents/kenkyuusyakuohuyoukou.pdf

■問い合わせ先 山梨県民生活部 私学・科振興課

科学技術担当 中村・小林・坂本

住所：〒400-8501 甲府市丸の内1-6-1

TEL：055(223)1312 FAX：055(223)1781

(3) 【NEDO 本公募中 6/14～6/27】

「NEDO プロジェクトを核とした人材育成、産学連携等の総合的展開／ロボットの社会実装におけるイノベーション創出人材育成」に係る公募について
※リンク先 http://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100056.html

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構(以下「NEDO」という。)は、以下の事業に参加する実施者を一般に広く募集いたしますので、本件について受託を希望する方は、下記に基づき御応募ください。

1.事業内容

(1) 概要

本事業では、我が国の将来を支えるロボット技術の発展の「場」（拠点）を大学等に構築し、ロボット分野の技術を支える人材を育成します。また、拠点を中心として多方面の人材の交流を図り、関連技術を含めた新たな技術シーズの発掘や技術の応用・発展に資する取組みにより、さらに当該技術を担う人材が育つという「好循環」を形成することを目指します。具体的には以下のi)～iii)を一体的に実施します。

i) 人材育成の講座の実施研究拠点において、ロボットでイノベーションを起こすために必要な、テクノロジー、デザイン、ビジネス的知見を、新規事業の立ち上げという観点から一体的に学習し、イノベーターを育成する講座を実施します。

また、メーカーとユーザーの距離を縮め、両者をつなぐための研究開発拠点を構築する活動も併せて行います。具体的には、企業が抱えるシーズや技術課題に関する授業をビジネススクールのカリキュラムに組み込み、PBL

(Project Based Learning) 形式をベースに、学生のみならず起業を目指す社会人や研究者、シーズや課題を提供した企業の社員もチームメンバーに入れ、更にユーザーへのヒアリングによるニーズ発掘調査をカリキュラムに加えることで、メーカーとユーザーの間のギャップの解消に取り組みます。ii) 人的交流等の展開大学、研究機関、企業及び省庁等との連携によってアジャイル開発ができる場の形成においては、人的ネットワークの構築と、開発速度の向上が必要となり、そのためには、ミドルウェア技術等によって開発速度を高めるとともに、製品についてユーザーからフィードバックを受け、その評価を素早く普及展開させるオープンなプラットフォーム形成が有効です。この実現のため、ミドルウェアの専門家を招いて人的交流を行うことで、ロボット開発におけるオープンプラットフォームの活用について学ぶことができると同時に、大学、研究機関、企業及び省庁等が連携してロボット製品開発を行うことのできる拠点の構築を目指します。iii) 周辺研究の実施産学官連携がグローバルに展開でき、また国内外の最先端のロボット研究開発成果を収集及び発信する拠点を構築するため、欧州、米国、アジア等のサービスロボット研究開発拠点を調査し、ビジネスデザイン手法、シーズとニーズのマッチング手法、マーケティング戦略等を、課題先進国という側面から、サービスロボットが世界に先駆けて普及すると見込まれる日本のマーケット

(ロボットの将来市場予測：NEDO／経済産業省) に対して出口戦略としてどのように落とし込むかを分析、検討します。また、海外の研究開発拠点と、参加する大学、研究機関、企業及び省庁等とが国際交流を行える関係の構築を目指します。

(2) 事業期間 平成 28 年度～平成 29 年度

(3) 事業規模 2,000 万円以内

2.説明会

応募に当たっては公募説明会の出席は義務ではありません。

- ・日時：平成 28 年 6 月 16 日（木）13 時 30 分～15 時 00 分
- ・場所：国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構 2101 会議室（神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 ミューザ川崎セントラルタワー 21 階）
- ・説明会の参加に際しましては、本ページ最下の資料欄にある公募要領を印刷の上、ご持参ください。（会場には用意がございません。）

3.応募方法、下記資料について

リンク先の資料欄（下部）から必要な書類をダウンロードしてください。

http://www.nedo.go.jp/koubo/CD2_100056.html

- ・契約約款
- ・＜一般用＞業務委託契約標準契約書一式
- ・＜大学用＞業務委託契約標準契約書一式（大学用）
- ・資料
基本計画（276KB）

平成 28 年度実施方針 (265KB)
公募要領 (391KB)
仕様書 (178KB)
 (別添 1) 提案書類 (126KB)
 (別添 2) 研究開発責任者研究経歴書 (23KB)
 (別添 3) 主要研究者研究経歴書 (40KB)
 (別添 4) NEDO 研究開発プロジェクトの実績調査票 (47KB)
 (別添 5) 提案書類受理票 (43KB)
 (別添 6) 契約に係る情報の公表について (116KB)
 (参考資料 1) 追跡調査・評価の概要 (122KB)

(4) 【JST 本公募中 6/14～6/27】
CREST／さきがけ／ACT-I 平成 28 年度研究提案募集 (第 2 期) のご案内
※リンク先 <http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

JST は、文部科学省が「AIP プロジェクト (人工知能/ビッグデータ/IoT/サイバーセキュリティ統合プロジェクト)」に関して設定した平成 28 年度戦略目標を受け、「CREST」および「さきがけ」において新たに 2 つの研究領域を設定し、その研究総括を決定しました。

また、新たな若手研究者向けプログラム「ACT-I (Advanced Information and Communication Technology for Innovation)」を設定し、その研究総括を決定しました。

第 2 期は、これら 3 つの新規研究領域、並びに既存の 2 つの研究領域、合計 5 研究領域において募集を行います。
詳細につきましては、募集要項をご覧ください。

- ・「5 研究領域」 <http://www.senryaku.jst.go.jp/teian/top/ryoiki2.html>
- ・「募集要項」 <http://www.senryaku.jst.go.jp/teian/top/koubo.html>

<第 2 期のスケジュール>

募集締切： CREST／さきがけ／ACT-I 平成 28 年 7 月 27 日 (水) 正午
書類選考結果の通知： 平成 28 年 9 月中旬～10月上旬
面接選考期間： 平成 28 年 9 月下旬～10月中旬
研究開始： 平成 28 年 12 月以降

※説明会の日時・場所や事前申し込みの要否など、公募に関する情報は下記 web ページで随時更新しておりますのでご覧ください。

<http://www.senryaku.jst.go.jp/teian.html>

【新規プログラム「ACT-I」について】

今回の戦略目標の達成に向けて、戦略的創造研究推進事業に新たな研究推進プログラム「ACT-I (Advanced Information and Communication Technology for Innovation)」を開始します。「ACT-I」は情報学分野において、募集を行う年の 4 月 1 日時点で 35 歳未満の優れた若手研究者 (学生は大学院生に限り応募が可能です) を見出して育成するプログラムであり、若手研究者の個人研究を支援するものです (研究期間：1 年 4 ヶ月以内、研究費：1 件あたり総額 300 万円を標準)。

また、研究開始 1 年後を目処に進捗評価を実施し、研究を引き続き支援することでより一層大きな成果が期待される研究課題については、「加速フェーズ」として、年間最大 1,000 万円程度の研究費をさらに最長 2 年間支援します。社会実装に意欲的な研究総括・領域アドバイザー・他の採択研究者との議論を通して自らのアイデアを発展させたいと考える若手研究者の方は、大学・企業の別を問わず是非応募をご検討ください。



02： イベント案内（5件）



(1) 6/18（土）連続市民公開講座 2016「第3回 介護クライシス」

※リンク先：<http://www.yamanashi.ac.jp/social/378>

～連続市民公開講座 2016「第3回 介護クライシス」～

山梨大学は今年度も読売新聞甲府支局と共催し、「創る～山梨のチカラを活かして～」と題した全10回の連続市民講座を開催します。山梨発の“チカラ”を活かして創り出された新しい技術や、医療の進歩による未来、心を豊かにする文化についてとりあげます。

聴講は無料です。4月から来年3月まで毎月（8月と1月を除く）第3土曜日に山梨大学の教員が登壇し、専門の分野を図解などを用いて分かりやすく解説します。7回以上出席した聴講者には修了証書「Master of Creation」を授与します。申込が無くても聴講は可能です。

※連続市民講座（2016）の詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.yamanashi.ac.jp/social/378>

【日時・場所】

開催日 平成28年6月18日（土）

会場 山梨大学 甲府東キャンパス A2-21 教室（地図）

定員 330人

時間 午後1:30～3:00まで（午後1時開場） 受講料 無料

【講義題目】 介護クライシス～日本企業は人材喪失リスクにいかにか備えるか

【講師名】 生命環境学部 教授 西久保浩二

【概要】

世界に類を見ないスピードで進行する少子高齢化に伴い、介護を理由とする離職者は企業にとって看過できないものになってます。総務省の2012年の就業構造基本調査によると、介護・看護を理由とする離職者数は、調査時点の直近1年間で10.1万人、過去5年間の累計では48.7万人に上ります。これらの社員の多くは、業務の中心を担っていた中高年齢層で、その離職は経営上の大きなリスクになります。

優秀な人材をつなぎ止めるために企業が取るべき施策は何か。労働時間の制限や介護サービス受給費用などといった介護に関わるリスクと、社員が使用可能な金銭面や介護面でのリソース（公的介護サービス等）と照合し、除去すべきリスクや不足するリソースのバランスを取ることを説きます。先進企業の事例を踏まえ、リスクとリソースの均衡にはどのような支援が必要かを検討します。

【申込み先・問合せ先】

〒400-8510 甲府市武田 4-4-37

山梨大学教務課「山梨大学教務課連続市民講座担当」

電話：055-220-8043 FAX：055-220-8796

電子メール：koukai-kouza@yamanashi.ac.jp

（電子メール題名は「連続市民講座申し込み」としてください。）

(2) 7/30 「水辺の探索 2016」開催のご案内

※リンク先：<http://www.coc.yamanashi.ac.jp/953>

河川協力団体に指定の Yamanashi みずネット(市民団体、代表:風間ふたば(山梨大学生命環境学部教授))と、国土交通省甲府河川国道事務所の共催により「水辺の探索 2016」を 7 月 30 日(土)に開催いたします。

水辺の生き物を探したり、水質調査などを行ったり、楽しみながら自然と親しむ活動です。指導員が川への安全な入り方、生き物の捕まえ方、捕まえた生き物の種類などを教えてくれます。

【日時】 2016 年 7 月 30 日(土) 9 時～12 時

【対象】 3 歳以上 ※小学生以下のお子様は保護者の方が同伴してください。

【締切】 7 月 26 日(火) 定員 50 名

※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込用紙(チラシ裏面)に必要事項を記入の上、FAX またはメールにてお申し込みください。

【参加費】 無料

【持ち物】 筆記用具・ノート・帽子・飲み物・着替え・ぬれてもよい服装・はきもの(運動靴・マリンシューズなど)

【集合場所】 富士川防災公園(富士川情報プラザ、芦川右岸)

〒409-3601 山梨県西八代郡市川三郷町市川大門 2 9 8 0

【詳細】 水辺の探検 2016 をご覧ください。

<http://www.ymizunet.org/mizuNet/modules/waterexp/PDF/waterexpl6.pdf>

【お申し込み・お問い合わせ】

● Yamanashi みずネット <http://www.ymizunet.org/>

山梨大学国際流域環境研究センター風間研究室気付

〒400-8511 山梨県甲府市武田 4-3-11

TEL(FAX) 055-220-8193 E-mail kagerou@ymizunet.org

当日の連絡先 080-1064-0452

● 国土交通省甲府河川国道事務所調査第一課企画係

〒400-8578 山梨県甲府市緑が丘 1-10-1

TEL 055-252-8884、FAX 055-252-8891

(3) 6/27 第 1 回 水素・燃料電池関連分野進出促進セミナーのご案内

※リンク先：<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/fcseminar.html>

山梨県では、燃料電池を活用した完成品や部品の製造を行っているメーカー担当者を招き、燃料電池ビジネスに参入する上で自社の技術をどのように生かせるか、現在どのような技術が求められているか、全 3 回の日程でセミナーを開催し、必要な情報を提供します。

第 1 回を 6 月 27 日に開催いたします。ぜひ、ご参加ください。

【日 時】 平成 28 年 6 月 27 日(月) 14:00～17:00

【会 場】 山梨県防災新館オープンスクエア(甲府市丸の内 1-6-1)

【参加費】 無料

【対 象】 水素・燃料電池関連ビジネスへの参入に関心のある県内企業

【内 容】

・講演 1 14:10～14:55 「燃料電池自動車の概要について」

講師: FC-Cubic 大仲英巳 氏(元トヨタ自動車株式会社 FC 開発部長)

- ・講演 2 14:55～15:40 「燃料電池自動車の冷却システム」
講師：デンソー株式会社 熱システム開発部 担当部長 鈴木隆久 氏
- ・講演 3 15:50～16:35 「燃料電池自動車に係る豊田自動織機の取組」
講師：株式会社豊田自動織機 コンプレッサ事業部 開発第十一室
室長 佐藤一穂 氏

【申込方法】 下記 URL リンク先の申込書に必要事項をご記入の上、FAX またはメールにてお申し込み下さい。

<http://www.pref.yamanashi.jp/shinjigyo/fcseminar.html>

- 【今後の開催予定】 第 2 回 平成 28 年 8 月開催予定
第 3 回 平成 28 年 10 月開催予定

【お問い合わせ】

山梨県 産業労働部
新事業・経営革新支援課
TEL：055-223-1565 FAX：055-223-1569
Email：shinjigyo@pref.yamanashi.lg.jp

(4) 【開催予定イベント】

- ★やまなし産学官連携研究交流事業
- ◇日時：9 月 2 日（金）
- ◇場所：山梨県立図書館（甲府駅北口）

(5) 【出展予定イベント】

- ★イノベーション・ジャパン 2016～大学見本市&ビジネスマッチング～
- ◇日時：8 月 25 日（木）～ 26 日（金）
- ◇場所：東京ビッグサイト（東京都江東区有明 3-11-1）
詳細はこちら→ <http://www.jst.go.jp/tt/fair/index.html>



03： プレス情報（1 件）



-
- 6/1 犬飼潤治（燃料電池ナノ材料研究センター教授）が、
島津製作所等とともに世界初の燃料電池解析装置を開発・販売
※リンク先：<http://www.yamanashi.ac.jp/5313>

犬飼潤治 燃料電池ナノ材料研究センター教授が中心となり開発した、世界で初めての燃料電池内部の酸素濃度を深さ方向にリアルタイムで把握できる「FC-3D モニタ FCM-3D-Oxy」がこのたび販売されることになりました。

本製品は、科学技術振興機構のプロジェクト「燃料電池内 3 次元反応分布可視化装置の開発」（平成 23～26 年度）において、犬飼教授をプロジェクトリーダーとする 3 大学 3 企業（本学・株式会社島津製作所・早稲田大学・慶應義塾大学・みずほ情報総研株式会社・パナソニック株式会社）が開発に参画し、その成果をもとに、島津製作所が製品化したものです。

犬飼教授は「本学の多くの教員・学生がプロジェクトに参加し、開発の中核になっていただいたことに感謝します。本装置が広く利用され、燃料電池開発をさらに促進させることを望んでいます」と述べています。

※山梨大学燃料電池ナノ材料研究センター掲載記事へのリンク
<http://fc-nano.yamanashi.ac.jp/topics/50.html>



■ 04：その他（1件）

「燃料電池関連製品開発人材養成講座について」



ナノセンター&ミライ燃料電池関連産業分野への参入にあたっては、燃料電池関連業界の動向を踏まえ、市場性や採算性など、事業化可能性について判断し、具体的な設計、製品開発、性能評価等を行うための高度で専門的な知識を有する人材の育成が不可欠であると考えられます。

そこで県内産業界の社会人技術者等を対象に、燃料電池関連製品の設計開発に必要な知識を習得する機会を提供し、燃料電池関連産業分野への参入に取り組みやすい環境を整備するために、山梨大学に「燃料電池関連製品開発人材養成講座」を開設します。

本講座を受講した方々が燃料電池関連製品の設計開発等に貢献し、より多くの企業等が燃料電池関連産業分野への参入を果たすことにより、本県における燃料電池関連産業の集積・育成を促進することを目的としております。

○講座概要

開催期間：平成28年7月28日（木）～平成29年2月23日（木）

原則毎週木曜日18：00～21：00（施設見学等を除く）

講義場所：山梨大学 燃料電池ナノ材料研究センター 研究棟 A 会議室

受講料：無料（ただし、テキスト代金及び実習等の実費費用をお願いする場合があります。）

内 容：

- ・水素・燃料電池の基礎
- ・セル製作・評価（分析・解析技術・電極試作・組立等）
- ・スタック（設計・製造・評価・組立等）
- ・システム（設計・燃料供給・改質技術等）
- ・応用・アプリケーション（エネファーム、産業用、自動車等）
- ・普及環境（基準・標準）
- ・修了研究（成果発表）

講師予定：山梨大学教員、水素・燃料電池関連企業技術者 等

○募集内容

出願資格：

(1)現在、燃料電池関連産業分野で活動している、または今後、同分野に参入を目指している県内に事業所もしくは営業所等がある企業に勤務している方で、所属長の推薦が得られる方

(2)燃料電池関連産業分野において、技術、経営面等で県内製造業との連携や支援を行う企業・団体等に勤務されている方で、所属長の推薦が得られる方

(3)工学系大学または高専卒業程度の工学系基礎知識、設計・生産等の実務経験のある方で、県内の燃料電池関連産業分野での就職または起業を目指す方

○募集人員：30名

○募集期間：平成28年6月6日（月）～6月30日（木）

○出願手続：出願書類に必要事項を記入のうえ、郵送にてご提出願います。

詳細は次のホームページの募集要項をご覧ください

（出願書類のダウンロードも可能です）。

○出願パンフレット メルマガに添付いたします。

○関連ホームページ URL （やまなし水素燃料電池ネットワーク協議会）

<https://sites.google.com/site/yamanashihfcnet/ran-liao-dian-chi-she-ji-kai-fa-ren-cai-yang-cheng-jiang-zuo>

○出願先（お問合せ先）

山梨大学 研究推進・社会連携機構 水素・燃料電池技術支援室

燃料電池関連製品開発人材養成講座担当

〒400-0021 甲府市宮前町 6-43 電話/FAX：055-254-7098

Email：hfc-info@yamanashi.ac.jp



- 1) このメールの内容は、提供された会員様限りでご使用下さい。
- 2) メールの内容については国立大学法人山梨大学が著作権を有します。